

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	2学年・E科
教科書				副教材			

学習目標	○森林・林業または生物工学の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、各分野の改善を図る実践的な資質や能力を育成することを目指す。
学習方法	○学校農業クラブ活動の学び方を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	0%	100%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	森林・林業や生物工学を総合的に捉え、体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけることができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
			中期	思考・判断・表現	30%	0%	30%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
			後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%
			最終	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
	b 思考・判断・表現	森林・林業や生物工学を総合的に捉え、体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけることができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
			中期	思考・判断・表現	30%	0%	30%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
			後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%
			最終	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
c 主体的に学習に取り組む態度	森林・林業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	前期	知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
		中期	思考・判断・表現	30%	0%	30%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
		前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
		後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%	
		最終	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期 中期	○林産物利用実践 ○森林科学実践	・きのこの原木栽培方法について学習します。 ・樹木の組織と構造や成長について学習します。	○	○	○	a: 動植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、それらの生物を環境保全に有効に活用する知識を身につけている。 b: 自然環境の保全に関する思考を深め、生物の生育過程や実験結果から分析できる判断力があり、地域社会にその成果を表現することができる。 c: 植物・環境・森林に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身につけている。	・授業ノート ・実習態度 ・意見発表文
	○意見発表作文 ○校内意見発表会	・農業クラブ活動として、各テーマの区分(食料・生産 環境 文化・生活)における自分の意見を文章にまとめて、発表します。	○	○	○		
	○森林経営実践	・森林調査のねらいについて学びます。 ・調査の方法と道具の使用方法について学びます。 ・野帳のまとめかたと、データの解析について学びます。	○	○	○	a: 動植物に関する基礎的な知識を身につけ、環境保全や地域産業振興に役立たせる知識を身につけている。 b: 生育調査を通じて動植物に関する思考を深め、環境要因の影響による生育過程を調査し、その結果を表現できる。 c: 各自のテーマに関する動植物や環境問題・地域産業の課題に興味関心を持つことができる。	・授業ノート ・農業鑑定競技 ・実習態度
後期 中期	○農業鑑定競技	・農業鑑定競技を通して、農業についての知識を学びます。	○	○	○		
	○インターンシップ ○森林科学実践	・インターンシップ先の企業について理解を深め、事前準備、まとめ、報告をします。 ・森林の保護管理技術について学びます。	○	○	○	a: 動植物に関する基礎的な知識を身につけ、環境保全や地域産業振興に役立たせる知識を身につけている。 b: インターンシップの成果を適確に判断し、盛農祭で分かりやすく表現できる。 c: 地域産業の環境問題等の課題に興味関心を持つことができる。	・授業ノート ・小テスト ・実習態度 ・盛農祭
後期 末	○専攻班学習	・研究班の専攻実習を行います。 ①「生物資源研究班」 ②「森林環境研究班」	○	○	○	a: 環境保全に関する基礎的な知識を身につけ、森林や河川、農村・都市などの環境を良好な状態に修復・再生し、保全する方法を理解している	・授業ノート ・実習態度 ・発表会の取組
	○学科プロジェクト発表会 ○校内プロジェクト発表会	・学科・校内プロジェクト発表会に参加し、各研究班の学習内容について理解を深めます。	○	○	○	b: 環境保全に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を学科発表会で適切に表現できる。	
	○1年間の活動のまとめ	・学習についてまとめ、次年度の目標と計画を立案します。	○	○	○	c: 国内外や身近な環境の状況に興味を持ち、生態系に関する地球規模での課題に関心が高い。また、地球環境を保全する機能について探究しようとしている。	